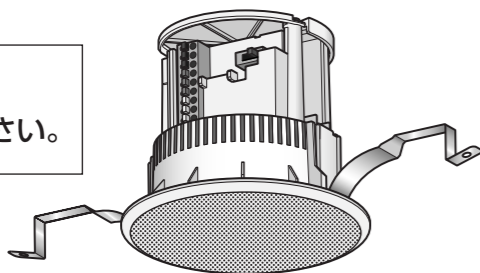


JVC

天井スピーカー

型名 **SB-C10X** **取扱説明書**
SB-C10XAT

設置、接続は、裏面をご覧ください。



※ イラストはSB-C10XATです。

ーお買い上げありがとうございますー

ご使用前に、この「取扱説明書」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、お確かめください。

B5A-1037-10

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話 0120-2727-87

携帯電話・PHS 0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

特長

スプリングクランプ式で天井取り付けが簡単に行えます。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意： 操作上の注意が書かれています。

メモ： 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

図表： 参照項目を示しています。

■ 本書の記載内容について

● 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。

● 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。

● QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

● 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービスについて

■ 保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。

■ 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

■ サービス窓口

- ・ 下記 URL をご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
- ・ カスタマーサポートセンター
(045-939-7320)

■ サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

■ 修理を依頼されるときは

調子が悪いときは、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な調節で直ることがあります。それでも具合が悪いときは、お買い上げ販売店またはサービス窓口にご相談ください。

| | |
|--------|---------------------|
| 品名 | : 天井スピーカー |
| 型名 | : SB-C10X、SB-C10XAT |
| お買い上げ日 | : |
| 故障の状況 | : 故障の状況をできるだけ具体的に |
| ご住所 | : |
| お名前 | : |
| 電話番号 | : |

■ 商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています



注意

この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています



警告

■ 本機の設置は、技術を必要とします。

本機の設置は、技術を必要としますので設置工事は必ず販売店または専門の工事店に依頼してください。



■ スピーカーから煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生したときは、そのまま使用しない

このようなときは、すぐにパワーアンプの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出ているときは、止まったのを確かめてから販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。



■ 本機の質量に十分耐えられる強度を持った場所に取り付ける

化粧合板、石膏ボード、プラスターボードなど、材質に強度が足りない場合は、補強材を当てて補強してください。補強が不十分な場合、落下など、事故の原因となります。



■ 本機のパンチングネットを外したり、改造しない

火災や感電、落下事故の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。



■ 長時間、音がひずんだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



■ 梱包箱や梱包袋などは、小さなお子様の手の届くところに置かない

遊びに使ったりすると、けがや窒息の原因となることがあります。梱包箱・梱包袋は、施工後に回収してください。



■ 必ず、アンプの電源を切ってから設置、接続を行う

アンプの電源を切らずに作業を行うと、感電の原因となることがあります。



■ 取り付ける前に本機に異常がないか確認する

スピーカー本機の樹脂部やパネルの樹脂部にひび割れなどの異常が発見された場合は、そのまま取り付けしないで交換してください。

長期使用での破損や落下事故の原因となります。



■ 風呂場など水のある場所では使わない

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。



注意

■ 次のような場所に設置しない

火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 湿気やほこりの多いところ
- ・ 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所
- ・ 熱器具の近くなど
- ・ 有機溶剤など化学薬品によるガスの発生する場所や充満している場所
- ・ 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ



■ 定期的に点検を行う

必ず1年に一度は、設置されているスピーカーが天井面から浮いていないことを確認してください。



取扱説明書に記載されているすべてのことに従わない不完全な取り付けにより、スピーカーおよび金具が落下した場合、当社は責任を負いかねますので、設置には十分な注意をお願いします。

正しくお使いいただくためのご注意

■ スピーカーを大音量で鳴らすと、壁や天井の構造によっては振動して音質を損ねる場合があります。壁や天井を補強し、振動の発生を防止してください。

■ 複数のスピーカーを使用する場合、使用するすべてのスピーカーの⊕、⊖の極性を必ず合わせてください。

■ 接続するスピーカーの合成インピーダンスは、使用するパワーアンプの負荷インピーダンス以上になるようにしてください。

■ 本機の定格入力を超えた過大入力を入れ続けしないでください。

■ キャビネットが汚れたら中性洗剤などで汚れを落とし、乾いた布でふきとります。シンナーやベンジン、塩素系洗剤、殺虫剤など揮発性の物をかけたり、またゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑性（かそざい）の影響により変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。

■ スピーカーの開口部分に直接物を当てないでください。異常音や故障の原因となります。

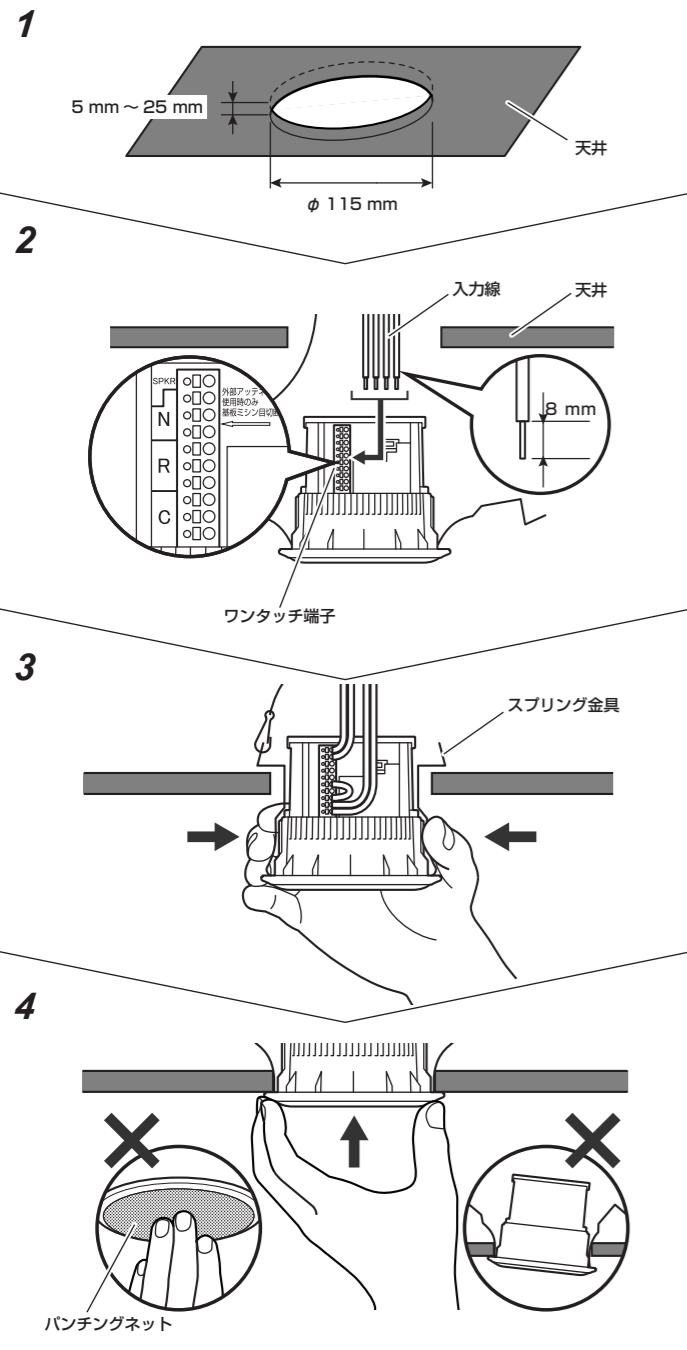
■ 落下防止ワイヤーを取り付けるときは本機の質量に十分耐えられる強度をもったものをご使用ください。取り付け後は、必ず安全を確認してください。

設置方法

ご注意

- 本体の取り付けおよび入力線の結線中は、衝撃を加えないように注意して作業してください。
- 落下防止ワイヤーの取り付けは、「落下防止ワイヤーを取り付けるときは」をご覧ください。

設置概要



1. 天井にφ 115 mm の穴をあける

- 適合天井板厚は 5 mm ~ 25 mm です。
- 施工する天井板厚を確認し、下表の天井穴径の公差におさまるように穴をあけてください。

| 天井板厚 | 天井穴径 |
|---------------------|--------------------------------------|
| 10 mm 越え ~ 25 mm 以下 | φ 115 ⁺² ₋₀ mm |
| 5 mm 以上 ~ 10 mm 以下 | φ 115 ⁺⁰ ₋₂ mm |

ご注意

- 指定以外の穴径、天井板厚に取り付けると、スピーカーの保持強度が低下します。

2. 入力線をワンタッチ端子に接続する

引き込みケーブル（アンプ側からのケーブル）、送りケーブル（次のスピーカーへのケーブル）をワンタッチ端子に接続します。

メモ

- 配線の詳細は、「配線図」をご覧ください。
- 適用電線は、φ 0.5 mm ~ φ 2 mm のものをご使用ください。
- 接続するときは、電線被ふくを約 8 mm むき、心線を端子穴にまっすぐ奥まで確実に差し込んでください。
- 取りはずすときは、ワンタッチ端子のボタンを押しながら、電線を引き抜いてください。

3. スプリング金具を天井の取り付け穴に引っ掛ける

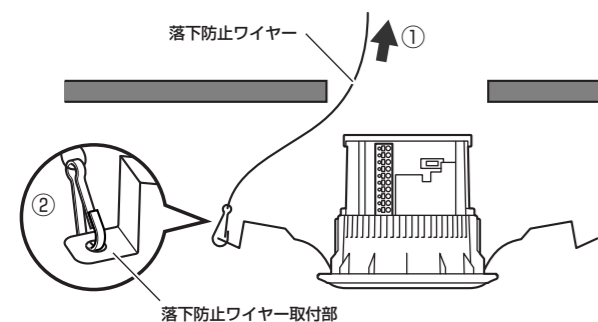
スプリング金具を本体に押しつけるようにつかみ、天井の取り付け穴に差し込みます。

4. スピーカー本体を天井に押し込む

ご注意

- 天井に押し込むとき、パンチングを押さないでください。変形する原因となります。
- スピーカー本体を押し込んだ後、天井面から浮いていないことを確認してください。

落下防止ワイヤーを取り付けるときは



ご注意

- 落下防止のため、確実に取り付けてください。
- 落下衝撃に対し十分強度があるワイヤーをご使用ください。

- ① お客様各自で別途用意された落下防止ワイヤーを、本機の質量（約 0.73 kg）に耐えられ、落下衝撃に対し十分強度がある棧などに取り付けます。
- ② 反対側を、本機の落下防止ワイヤー取付部に取り付けます。

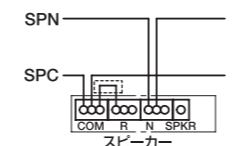
配線図

外付けアッテネータ使用時の配線図は、下記 URL または右記 QR コードの「データダウンロードコーナー」から機種名で検索し、ご覧ください。
<http://www32.jvckenwood.com/jvc/system/pro-dl/>

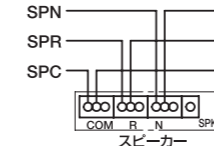


(1) 2 線式配線

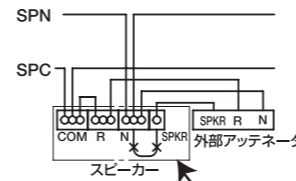
SB-C10XAT 使用時のみ接続する。



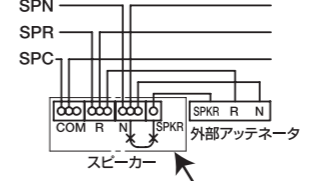
(2) 3 線式配線図



(3) 2 線式配線（外部アッテネータユニットを取り付ける場合）



(4) 3 線式配線（外部アッテネータユニットを取り付ける場合）



ラジオベンチなどで基板のミシン目を切断してください。

基板ミシン目

外部アッテネータ使用時のみ切断

入力を変更する

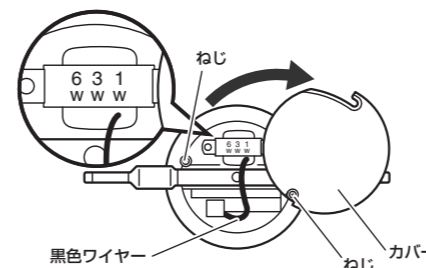
出荷時、スピーカー入力は 1 W に接続されています。3 W、6 W で使用する場合は、黒色ワイヤーを 3 W、6 W の端子に差し換えてください。

ご注意

- 入力の変更や修理のときは販売店に依頼してください。

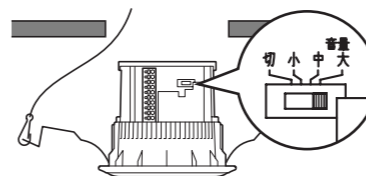
差し換え方法：

ねじ 2 本をゆるめてカバーを開けてください。差し換え後は、カバーを元の位置に戻し、ねじをしっかりと締めてください。



音量を切り換える（SB-C10XAT のみ）

音量切換スイッチで音量を設定してください。出荷時は、「大」に設定されています。



減衰量

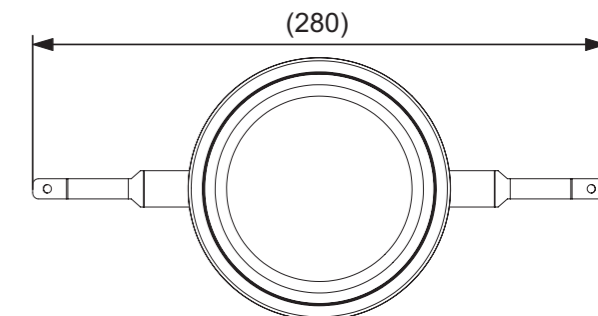
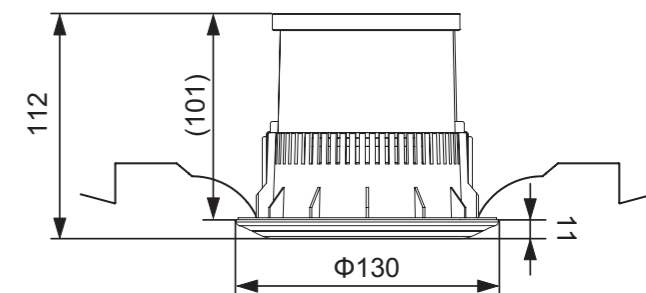
| 定格入力 | 切 | 小 | 中 | 大 |
|------|-----|--------|-------|------|
| 1 W | OFF | -8 dB | -3 dB | 0 dB |
| 3 W | OFF | -11 dB | -6 dB | 0 dB |
| 6 W | OFF | -15 dB | -9 dB | 0 dB |

仕様

日本消防検定協会認定評価品：L 級
 音響パワーレベル：p = 90 dB(1 W)
 指向特性区分 = W

| | |
|-----------|--|
| スピーカーユニット | 10 cm コーン型 |
| 定格入力 | 1 W / 3 W / 6 W |
| 出力音圧レベル | 91 dB/W (1 m) |
| 周波数特性 | 150 Hz ~ 20 kHz |
| 入力インピーダンス | 10 kΩ (1 W)、3.3 kΩ (3 W)、1.7 kΩ (6 W) |
| 入力端子 | ワンタッチ端子 |
| 外形寸法 | φ 130 mm × 高さ 112 mm |
| 質量 | 約 0.73 kg |
| 仕上げ | ピュアホワイト（マンセル N5Y9/0.5 近似） |
| 材質 | 本体：ABS パンチングネット：鋼板 スプリング金具：ステンレス |
| 添付物 | 取扱説明書（本書）× 1 |

■ 外形寸法図（単位：mm）



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。